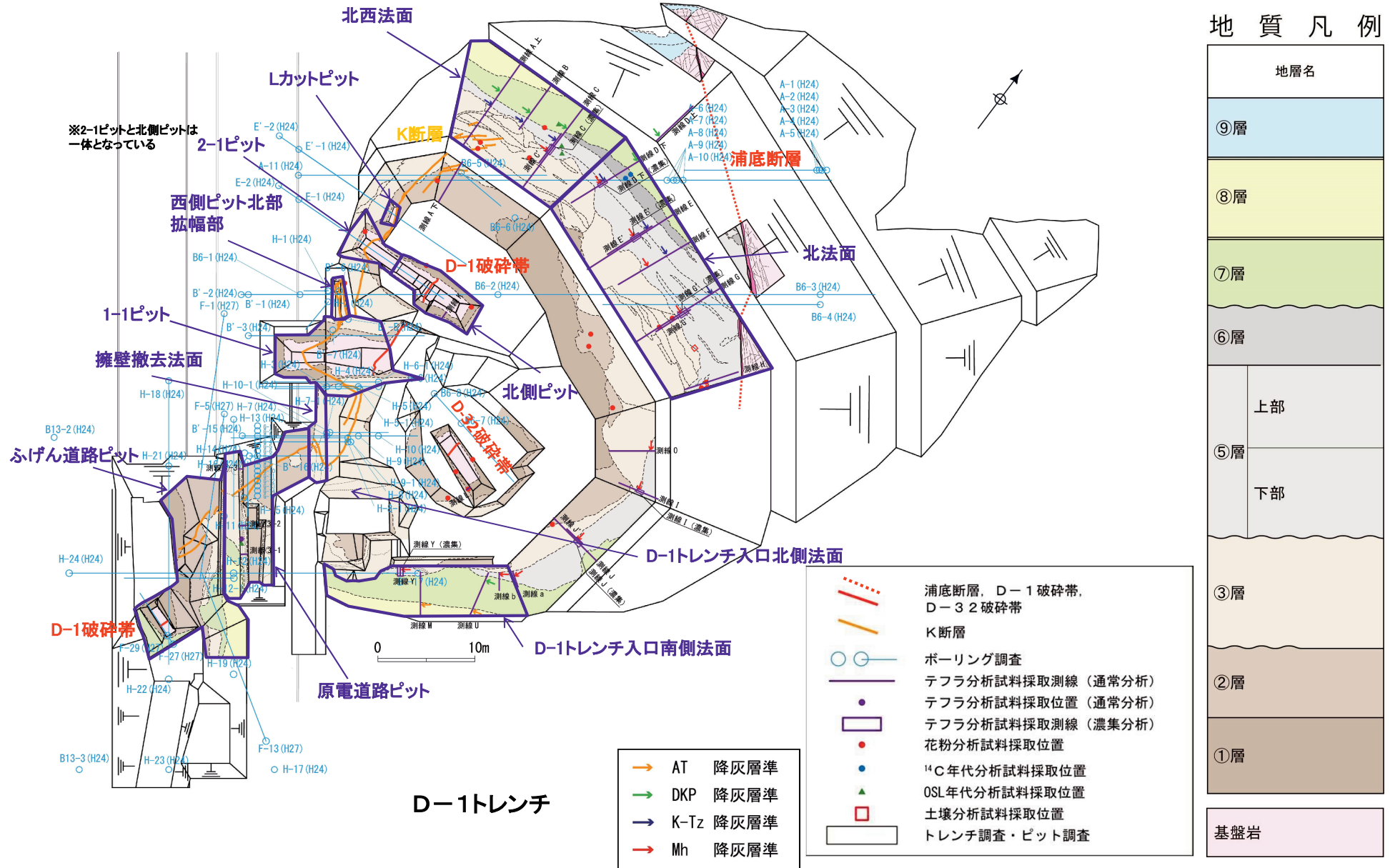


2.1.1 地層の層相及び分布 (D-1トレンチ 層相区分)

- D-1トレンチに分布する地層は、花崗斑岩とそれを覆う第四系からなり、第四系は層相に基づき下位より①層～③層及び⑤層～⑨層の地層に区分した。
- 地層の堆積年代を評価するため、テフラ分析(通常分析, 重鉍物濃集分析, 主成分分析), OSL年代測定, 放射性炭素[¹⁴C]年代測定, 花粉分析, 土壌分析を実施した。
- 調査位置, 分析試料採取位置を示す。



2.1.1 地層の層相及び分布 (D-1トレンチ 地質層序表)

年代	地層名	色調	層相	テフラ分析	花粉分析	土壌分析		放射性炭素[¹⁴ C]年代測定	OSL年代測定	堆積年代	
						土壌分類	遊離酸化鉄分析				
第四紀	完新世	⑨層	褐～にぶい黄褐	礫混じり砂質シルトからなる。⑧層とは平行不整合関係で接する。	—	—	—	—	—	MIS2以降	
	後期更新世	⑧層	褐～黄橙	シルト質砂を基質とする砂礫からなり、一部に成層構造もみられる。下位の⑦層とは平行不整合関係で接する。	始良Tnテフラ(AT)の降灰層準を含む(約30～28ka)	—	—	—	—	MIS3とMIS2の境界付近	
		⑦層	褐～褐灰	礫混じり砂質シルト～礫混じりシルト質砂からなる。山地斜面では下位層とは平行不整合関係で、低地では下位層を削削した不整合関係で接する。	大山倉吉テフラ(DKP)の降灰層準を含む(約59～58ka)	—	—	—	57±4ka	MIS4～3	
		⑥層	灰～暗灰	腐植質砂質シルト～シルト質砂からなり、木片を多く含む。⑤層上部と整合関係で接する。	—	—	—	—	測定限界を超えていた(53,960年前より古い)	MIS5a～5b	
		⑤層	上部	灰白～浅黄橙	シルト質砂礫主体で、シルト層～シルト質砂層が不連続に層状を呈し、腐植質シルトを含む。緩い西側傾斜で一定の層厚を示す。	鬼界葛原テフラ(K-Tz)の降灰層準を含む(約95ka)	温暖期の花粉を含む	—	—	109±3ka	MIS5c
			下部	灰白～浅黄橙	シルト質砂礫主体で、シルト層～シルト質砂層が不連続に層状を呈し、腐植質シルトを含む。北法面の東方に向かって層厚が厚くなる。③層とは不整合関係で接する。	美浜テフラ(Mh)の降灰層準を含む(約127ka)	温暖期の花粉を含む	—	—	126±5ka	MIS5e
		中期更新世	③層	浅黄橙～橙	砂礫主体で、シルト層やシルト質砂層を層状からレンズ状に挟在し、チャネルによる削り込みが複数認められる。③層は、D-1トレンチ北西法面では下位の②層及び①層とは不整合関係で接し、原電道路ピットから南方では②層とは顕著な不整合関係は認められない。最上部には土壌化した地層が認められ、D-1トレンチ北西法面から北法面にかけて広く分布している。	—	—	土壌生成で発達したB層に対応	活性度は0.1より小さく、結晶化指数は0.7程度以上であり大きく風化が進行している	133±9kaより古い	MIS6以前
	②層		にぶい橙～灰白	くさり礫を多く含む塊状で締まった砂質シルト～砂及びシルトと砂の互層からなり、一部には腐植質シルトを含む。下位の①層との境界は凹凸しているが大きな浸食は認められない。	—	温暖期の花粉を含む	—	—	—		
	①層		にぶい赤褐～明黄褐	よく締まった淘汰の悪い砂礫からなり、くさり礫を多く含む。	—	—	—	—	—	—	
古第三紀	基盤岩	※④層の区分は設けていない。									

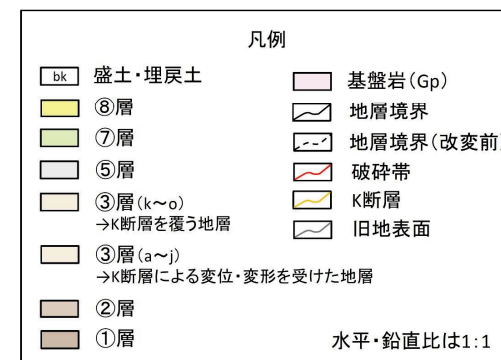
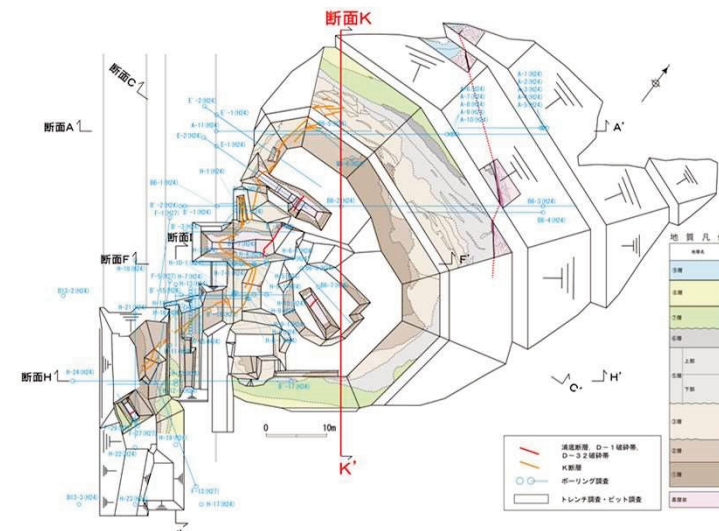
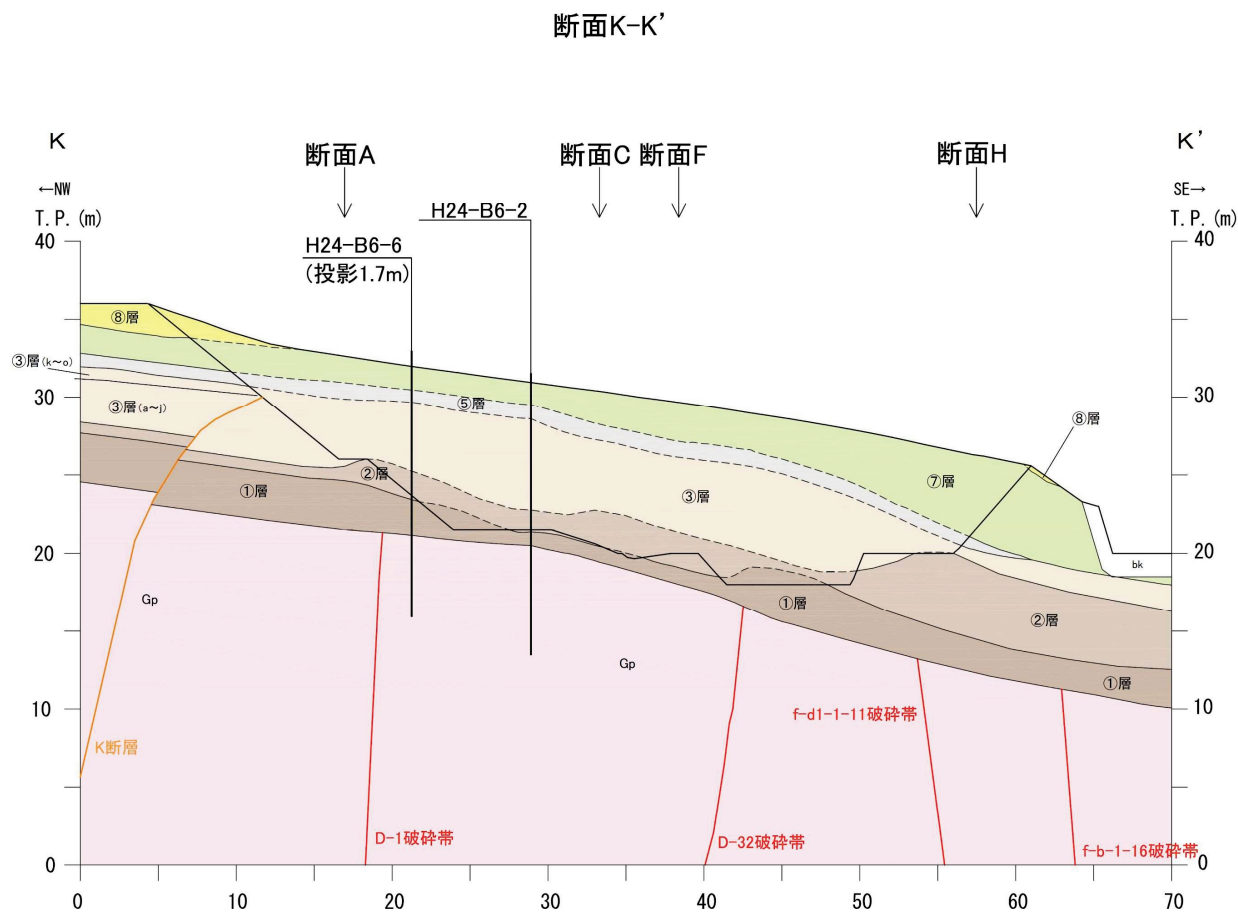
(凡例)

— : 整合境界
 — : 平行不整合境界
 ~ : 不整合境界

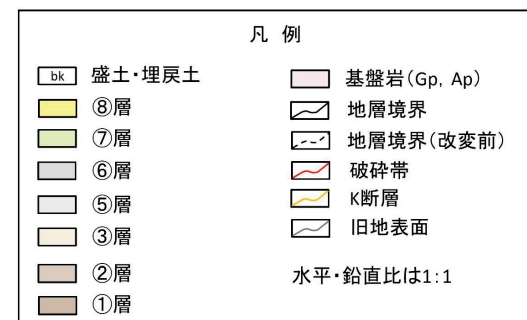
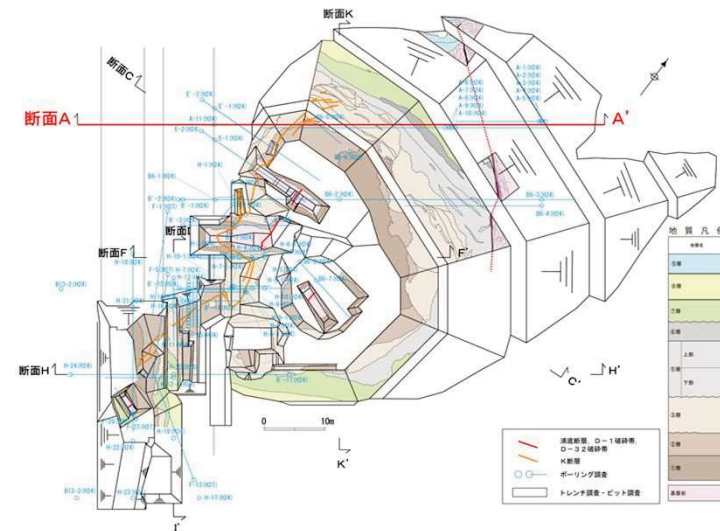
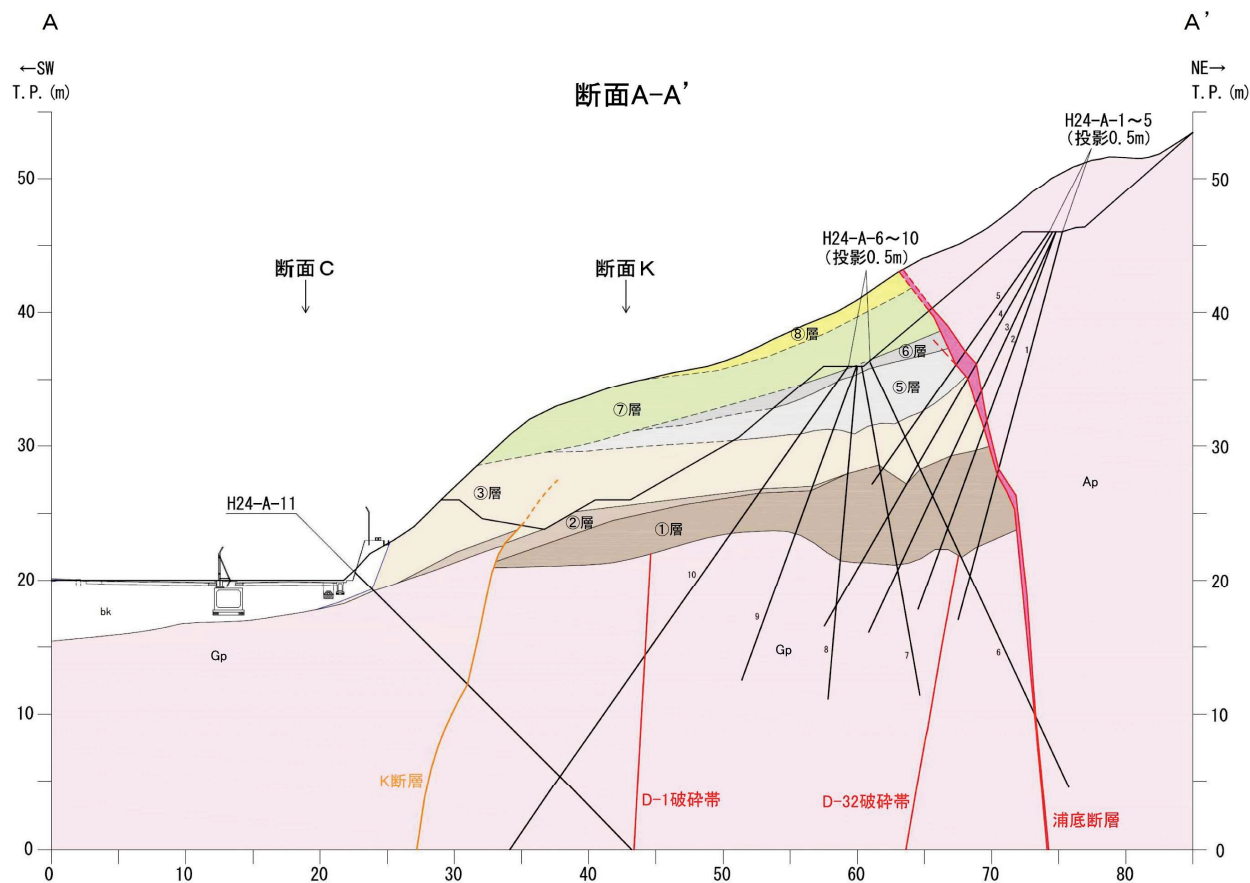
— : 当該の分析又は測定を実施しなかったもの、目的とした情報が得られなかったもの

・ D-1トレンチに分布する地層は、花崗斑岩とそれを覆う第四系からなり、第四系は層相に基づき下位より①層～③層及び⑤層～⑨層の地層に区分した。

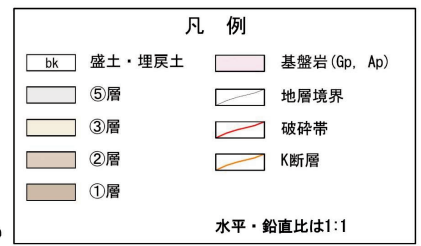
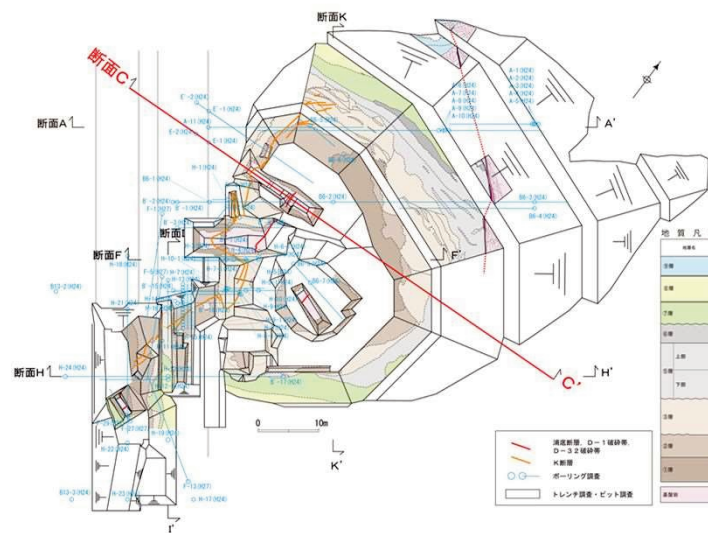
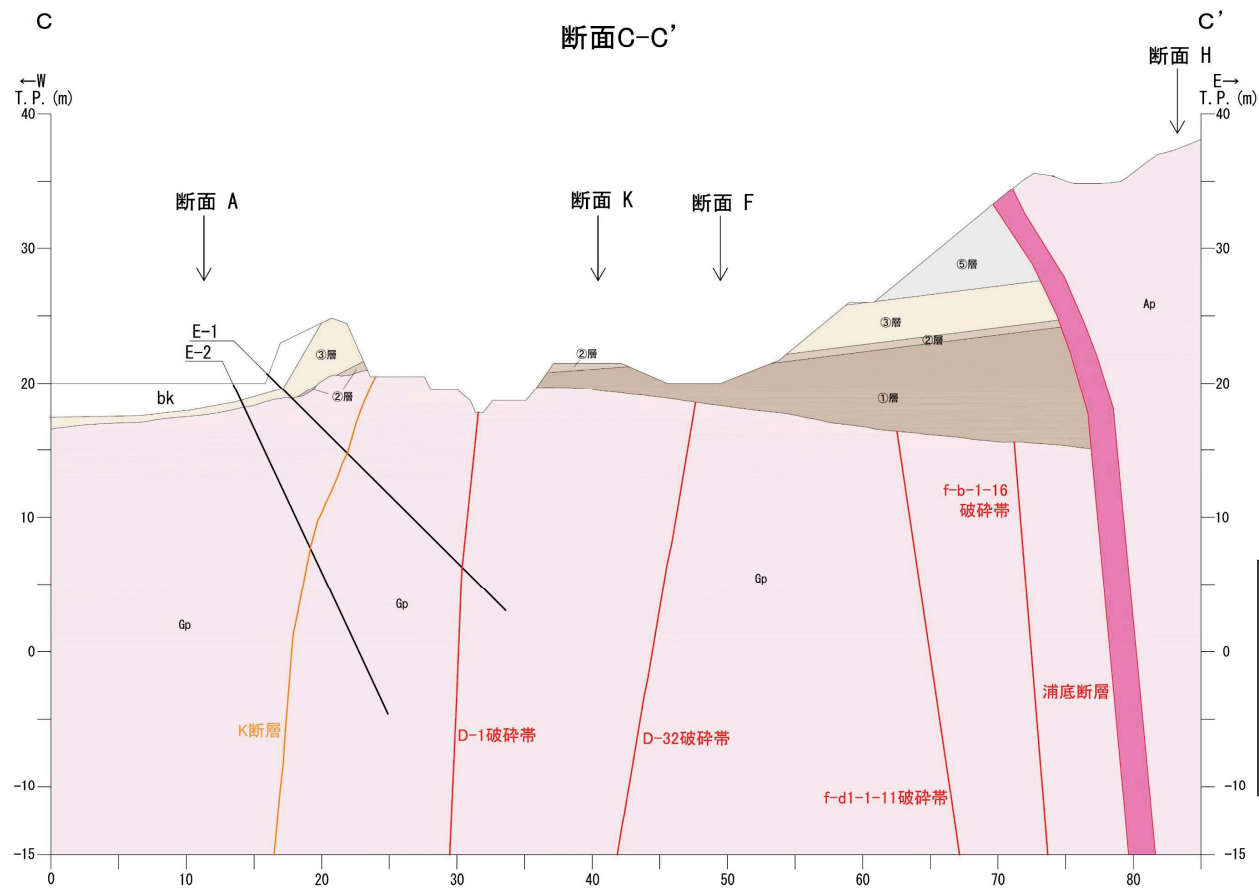
2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面K-K')



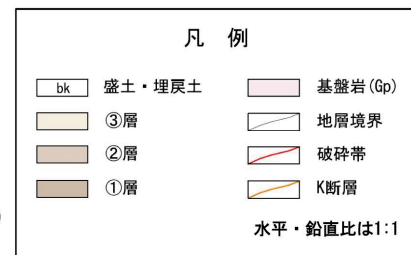
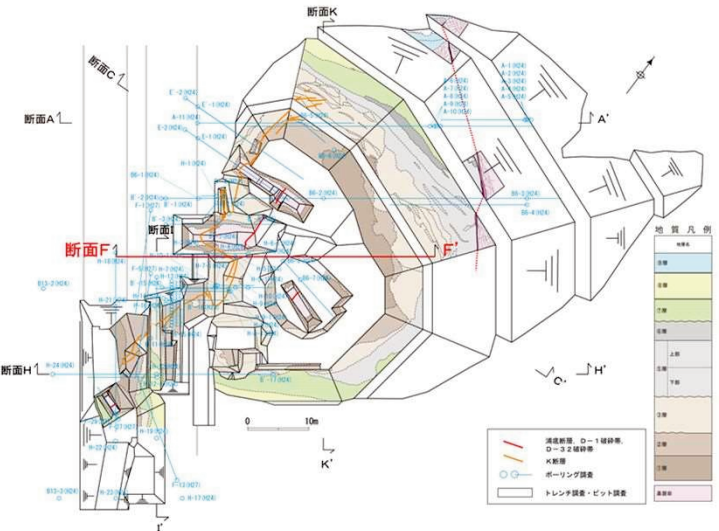
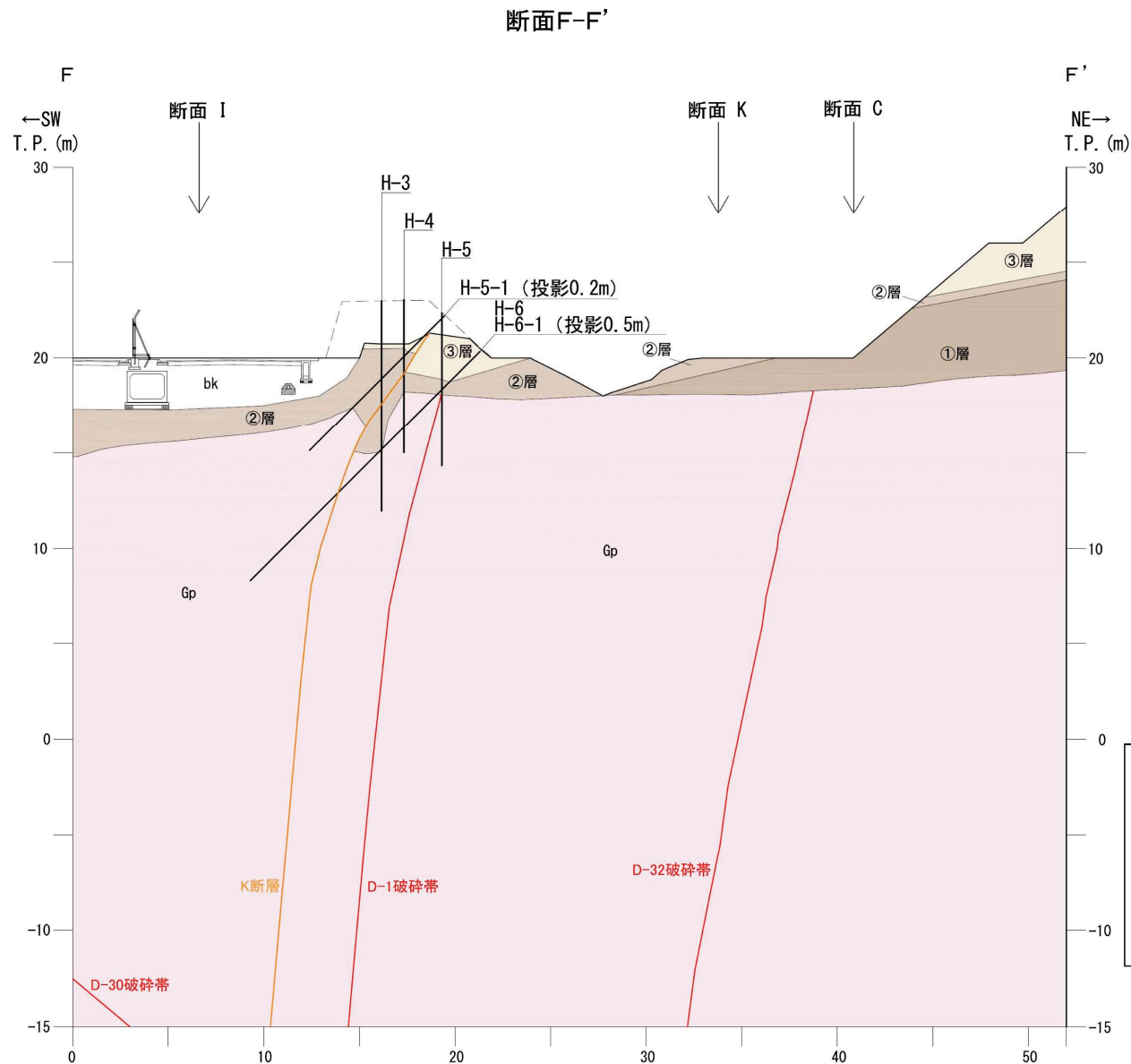
2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面A-A')



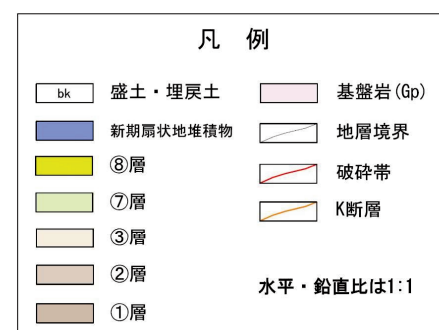
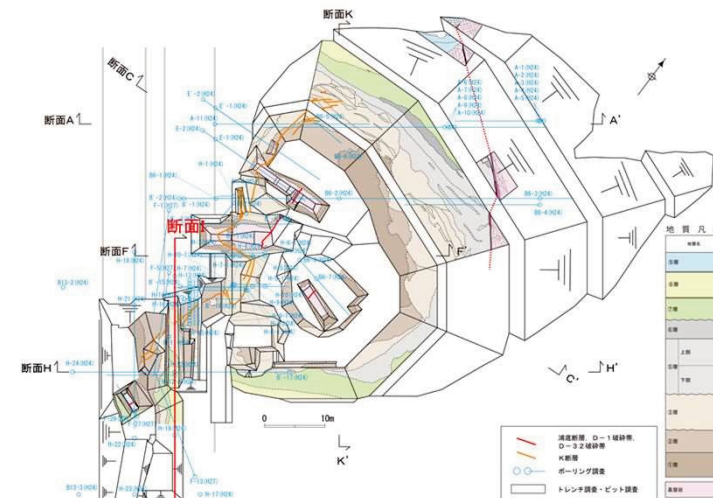
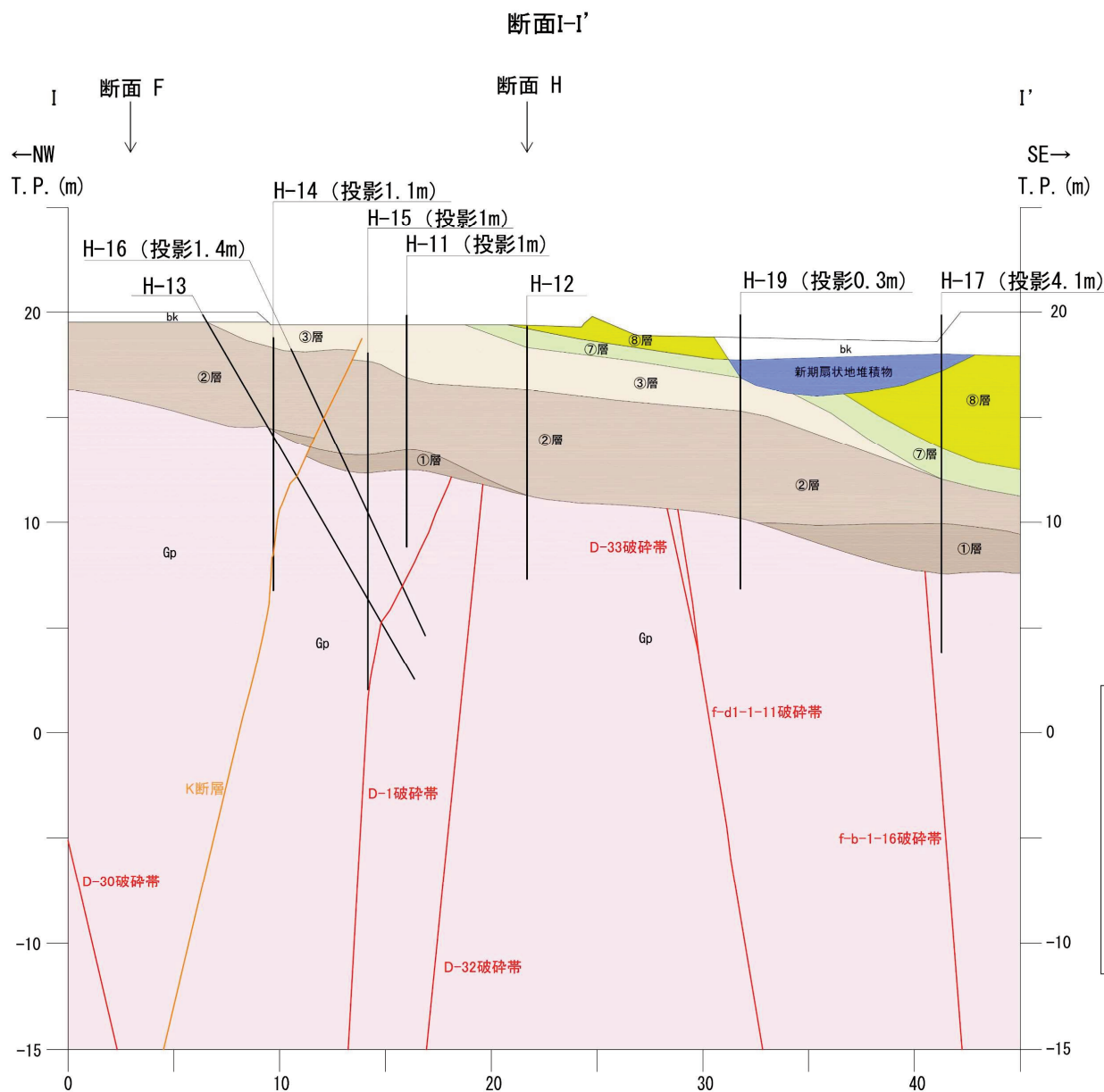
2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面C-C')



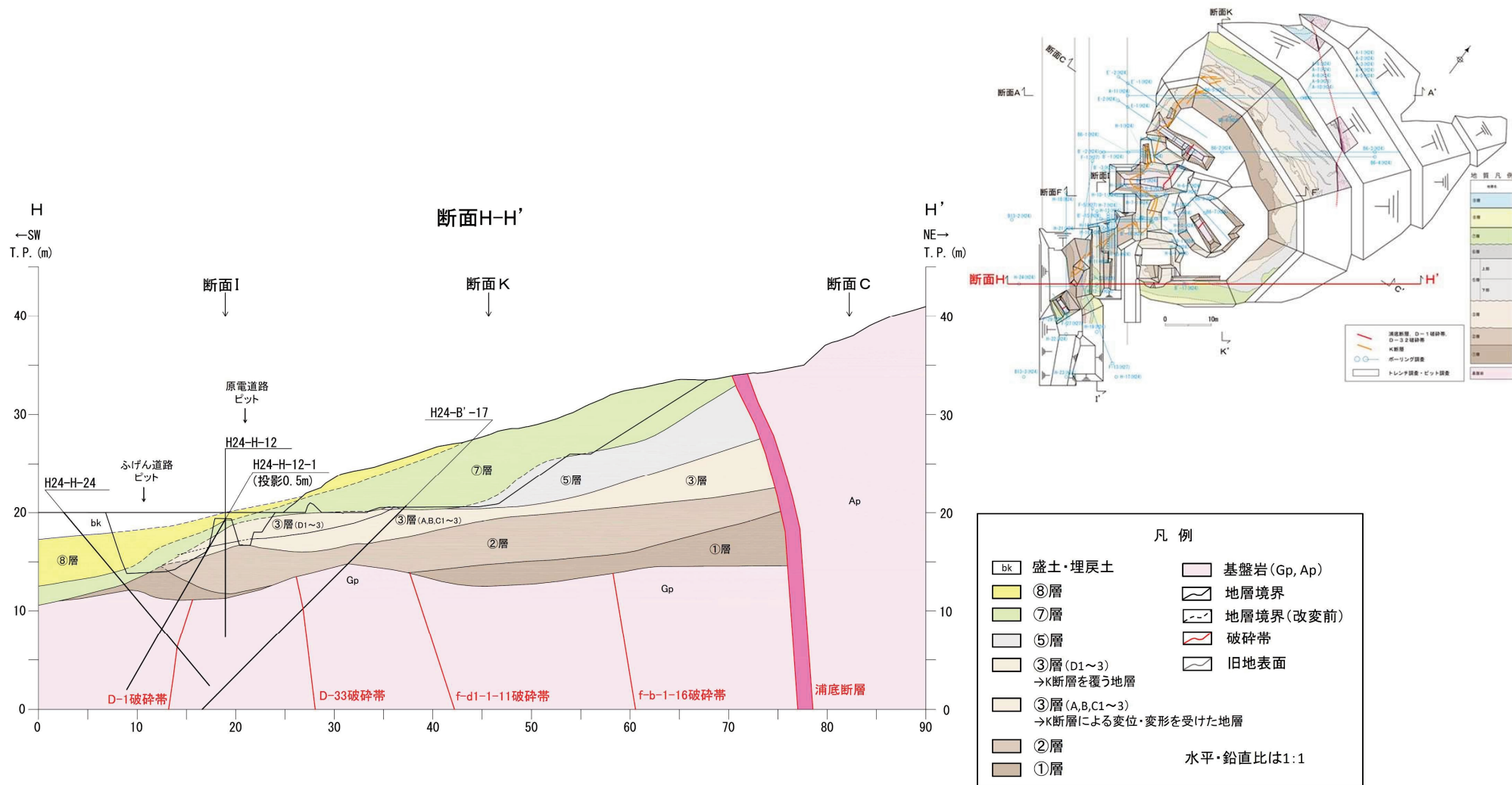
2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面F-F')



2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面I-I')



2.1.1 地層の層相及び分布 D-1トレンチ内の断面図 (断面H-H')



余白

2.1.2 地層の堆積年代

2.1.2 地層の堆積年代 テフラ分析結果（分析試料採取位置）

- 地層の堆積年代を評価するため、テフラ分析（通常分析、重鉍物濃集分析、主成分分析）を実施した。
- 試料採取測線の位置を下記に示す。
- ⑤層は、堆積構造の違いから上部と下部に細区分される。
- ⑤層下部は北法面の東方に向かって層厚が厚くなっており、⑤層上部は緩い西傾斜で一定の層厚を示す。⑤層は下位の③層とは不整合関係で接する。

